



Photo by masato okazaki

日高 剛 ホルン Takeshi Hidaka Horn,

宮崎県出身。長崎大学経済学部を卒業後、東京藝術大学、オランダ・マーストリヒト音楽院にてホルンを学ぶ。ホルンを E.ペンツェル、W.サンダース、守山光三、山田眞、田原泰徳の各氏に師事。2000年広島交響楽団に入団、その後日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、NHK交響楽団ホルン奏者を2013年まで歴任。国内外の数多くの指揮者の下で演奏した。日本のオーケストラと W.A.モーツァルトや R.シュトラウス、グリエール、シューマン：4つのホルン為のコンツェルトシュトゥック、リゲティ：ハンブルグ協奏曲等のソリストを務め好評を博した。また演奏活動はソロ・室内楽・オーケストラのみならず多岐に渡っており、音楽と美術のコラボレーション、

病院やリハビリテーション施設におけるアウトリーチ活動、長崎県地域ブランディング推進委員として、長崎県特に五島における文化芸術事業の企画運営にも意欲的に取り組んでいる。演奏活動にだけでなく、国内外でワークショップを行い後進の育成にも力を注いでおり、これまでに、第43回国際ホルン協会シンポジウム（ロサンゼルス・U.S.A.）、The International Hornweek（マーストリヒト・オランダ）、シベリウス音楽院（フィンランド）、嘉義市（台湾）にてリサイタルやマスタークラスを開催した。霧島国際音楽祭、木曾音楽祭にも参加している。2013年より東京藝術大学准教授。国立音楽大学講師、名古屋音楽大学客員教授、相愛大学集中レッスン担当講師、日本センチュリー交響楽団首席客演奏者、新日本フィルハーモニー交響楽団首席（契約）ホルン奏者を務める。

ホルンアンサンブル「つの笛集団」、THE HORN QUARTET、木管五重奏 Wind Five メンバー。日本ホルン協会常任理事。長崎県地域ブランディング推進委員。

CD「Variation for Horn」（フォンテック、レコード芸術準特選盤）「HORIZON」（カメラータ・トウキョウ、レコード芸術特選盤）Etude CD ホルン「コップラッシュ60の練習曲」「ベローリ8つの練習曲」（ビットマップ）ホルンアンサンブル The Horn Quartet CD「Sparkling Horns!」（Con anima）をリリース。